

■教育目的

社会学、社会薬学、社会福祉学、倫理学、薬害・医療安全、薬剤師と医師・歯科医師・助産師との連携など、幅広いテーマを扱うことで、現代社会における医療者に必要な問題意識・思考力を涵養する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑥】

■学習到達目標

1. 医療者に必要・有用と思われる、人文・社会科学系を含む素養・思考法を身につける(知識)
2. 現代医療における諸問題を把握、問題意識を持ち、自ら考える力を伸ばす(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：日頃から医療に関するニュースに関心を持ち、情報収集に努める。(30分)

復習：各講師の指示による。(指定 HP の参照など、30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

授業内容は人文社会科学の枠にとらわれず、多様な講師から医療安全や医療者としての心得などを学び、学生は毎回レポートを提出する。

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	導入	本授業の概要と進め方について 優生思想の歴史	A(1)-①-1～7
2	医療倫理(1)	医療倫理関連事例	A(1)-①-1～7
3	医療倫理(2)	医療倫理関連事例	A(1)-①-1～7
4	社会薬学	臨床研究(治験)について	B(2)-②-3
5	社会福祉学(1)	多職種連携・協働	A(4)-①-1～5
6	社会福祉学(2)	コンフリクトマネジメントについて	A(4)-①-1～5
7	依存症	依存症の正しい理解と支援のあり方	A(1)-①-1～7
8	サリドマイド薬害	サリドマイド薬禍から学ぶ	A(1)-③-6,7
9	医療安全(1)	患者の視点で考える医療安全 ～患者と医療従事者をつなぐ取り組み～	A(1)-①-1,5
10	医療安全(2)	失敗から学ぶ医療の質と安全	A(1)-③-4
11	歯科診療	薬剤師が知っておきたい歯科の基本知識	A(4)-①-2
12	助産学	母乳育児相談の現場から助産師が伝えたいこと	A(4)-①-2
13	DV被害者支援	DVと医療従事者の役割	A(3)-①-5,7
14	社会学	社会学的視点から身体を考える	A(1)-①-1～7
15	まとめ	よりよい医療と社会を目指して	A(1)-①-1～7

■授業分担者

高野 麻子(No.1,14,15)、川北 晃司(No.2,3)、廣瀬 誠(No.4)、田口 潤(No.5)、外部講師(No.6～13)。ただし分担者の担当順、及び授業内容は変更しうる。

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：講義や課題レポートに関する質問等を個別に受けつけ、解説・説明をする。

成績評価方法：各回の課題レポート提出分を合計評価する(レポート 100%)。

■教科書

教科書は使用しない。講師によりレジュメが提供される場合がある。

■参考書

小松楠緒子・川北晃司編著『くすりと社会』北樹出版(2014年)、豊田郁子『増補新版 うそをつかない医療』亜紀書房(2016年)

■その他

授業は金曜午後に2コマずつ実施予定。詳細はメール等でお知らせします。